

お祝いの言葉



公明党大阪府本部代表代行
参議院議員

杉 久武
Sugi Hisatake

お祝いの言葉

錦繡の秋、「錦繡金秋 友好飄香 一心と心、響き合う未来一」のテーマのもと、第6回日中友好コンサートがかくも盛大に開催されましたことを、心よりお慶び申し上げます。

一般社団法人日中文化振興事業団・胡金定代表理事をはじめ、準備にご尽力くださいました関係各位に、深甚なる敬意を表します。

私ども公明党は、日中友好を「金の橋」と表現してまいりました。「金」とは時を経ても輝きを失わず、朽ちることのない象徴です。両国を結ぶ永遠の架け橋として、日中友好を揺るぎなく進める決意を込めております。

この「日中友好の金の橋」は、公明党創立者・池田大作先生が1968年9月8日の「日中国交正常化提言」において唱えられた言葉に端を発します。当時、池田先生は「世界の平和と日本の未来のために日中関係の正常化が不可欠」であると訴え、歴史の困難を超え、文化と民衆の心を尊重することこそ未来への道であると明示されました。

私自身、日中交流の真の基盤は経済や安全保障にとどまらず、文化・教育における協力にあると確信しております。人と人との信頼こそが両国関係を前へ進める力です。青年や民衆が友情を育み、平和を築く。そのための「金の橋」を、私たちの世代

が責任をもって架けねばならないと強く感じております。

貴事業団が積み重ねてこられたたゆまぬ努力に、改めて敬意を表します。本日のコンサートが相互理解と協調をさらに広げ、平和の「金の橋」となることを確信するとともに、私自身も日中友好の先頭に立つ議員の一人として、今後も尽力してまいります決意です。

結びに、一般社団法人日中文化振興事業団の一層のご発展と、ご参会の皆さまのご健勝・ご多幸を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

Friendship concert
Japan-China